

2019年4月12日

府内関係団体 御中

京都府北部福祉人材確保事業事務局

2019年度『福祉即戦力人材養成科（丹後会場）』に係る講師推薦依頼について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、京都府北部福祉人材確保事業の運営に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、毎年度京都府北部地域の介護・福祉事業所等から数多くの講師に出講していただいております「福祉即戦力人材養成科（離職者訓練）」を、今年度も中丹・丹後エリアで開講することとなりました。本年度は丹後会場を8月開講、中丹会場を10月開講とし、京都府北部地域の介護・福祉事業所等から講師の募集をいたします。

今回の講師募集については、丹後会場の講師をご推薦いただける法人（事業所）を対象とし、別紙の回答表（丹後：別紙様式4または5）に必要事項をご記入いただき、推薦調書（別紙様式1）とあわせて、5月5日(日)午前中までにFAX等でお届けくださいますようお願い申し上げます。

なお、中丹会場の講師募集については、5月末頃を予定しておりますので、中丹エリアの法人（事業所）におかれましては、お含みおきくださいますようお願いいたします。

※福祉即戦力人材養成科とは…

離職者を対象とし、介護職員初任者研修課程・実務者研修に読み替えのできる地域研修に加え、施設実習やビジネススキル向上のための独自研修等を加えた離職者向け訓練を実施。介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。（概要は「参考資料」を参照）

【問い合わせ先】

京都府北部福祉人材確保事業 事務局 担当：清水

〒620-0045 福知山市駅前町400 市民交流プラザふくちやま

TEL 0773 (22) 2815 FAX 0773 (22) 2818

MAIL h-shimizu@kyoto-jobpark.jp

2019年度
『福祉即戦力人材養成科』

開催概要

丹後会場

今後の福祉人材キャリアパス

各地域を中心に2015年から地域包括ケアシステムを2025年を目途に構築する取り組みが始まっている。また、「我が事、丸ごと」地域共生社会の実現に向けた動きがはじまった。介護保険制度スタート時より住み慣れた地域での利用者支援が介護福祉職に求められている。介護保険制度の導入時よりも利用者本位の視点の重視、サービス利用者の権利意識やコスト意識、そして地域の社会資源の把握と活用の意識がより求められている。

また、厚生労働省は「介護人材の養成体系の見直し」を下記のようにまとめた。

- 1) 今後のキャリアパスは、「初任者研修修了者⇒介護福祉士(実務者研修修了者を含む)⇒認定介護福祉士」を基本とする。
- 2) 訪問介護員(ホームヘルパー)2級相当の研修を初任者研修と位置づけ、訪問介護員1級相当の研修と介護職員基礎研修は、実務者研修に1本化する。
- 3) 実務者研修は、研修時間を450時間とし、働きながらでも研修を受講しやすい環境を整備する。

2019年度『福祉即戦力人材養成科』とは

介護職員初任者研修過程①に、実務者研修450時間のうち200時間（地域研修②）を加え、さらに・施設実習・障害者支援に関する資格取得研修・ビジネススキル等向上のための追加研修③を加えた5ヶ月間の離職者向け訓練。介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。

《科目一覧》

《講義スケジュール》

2019年度 福祉即戦力人材養成科 訓練メニュー（仮）

参考資料

介護職員初任者研修過程①に、実務者研修450時間のうち200時間（地域研修②）を加え、さらに施設実習・障害者支援に関する資格取得講座・ビジネススキル等向上のための府独自の追加研修③を加えた5ヶ月間の離職者向け訓練
介護・福祉事業所での即戦力人材となるよう養成と就職を目指す。

| 介護職員初任者研修過程① | 時間数 | 地域研修② (実務者研修・修了認定研修) | 時間数 | 追加研修③ | 時間数 |
|--------------------------|-----|-------------------------|-----|---------------------|-----|
| 職務の理解 | 6 | | | 介護過程(演習) | 12 |
| 介護における尊厳の保持・自立支援 | 9 | 社会の理解Ⅱ | 30 | 実習(8H×12日間) | 96 |
| 介護の基本 | 6 | 介護の基本Ⅱ | 20 | 実習事前18H・事中5H・事後演習8H | 31 |
| 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 9 | | | 人間の尊厳の理解 | 6 |
| 介護におけるコミュニケーション技術 | 6 | コミュニケーション技術 | 24 | 同行援護従業者養成研修(一般課程) | 20 |
| | | | | 福祉即戦力人材養成科振り返り | 4 |
| 老化の理解 | 6 | 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | | |
| | | 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | ビジネスマナーⅠ | 3 |
| 認知症の理解 | 6 | 認知症の理解Ⅱ | 24 | ビジネスマナーⅡ | 3 |
| 障害の理解 | 3 | 障害の理解Ⅱ | 24 | 就職活動応用(履歴書の書き方) | 5 |
| こころとからだのしくみと生活支援技術 | 75 | こころとからだのしくみⅡ | 60 | 就職活動応用(面接対策) | 6 |
| 振り返り (理解度テスト) | 5 | | | | |
| 小計 | 131 | 小計 | 212 | 小計 | 186 |
| 実務者研修履修時間(①+②) (読替え可能時間) | | | 330 | | |
| 合計 | | | 529 | | |

2019年 8月

10月

12月

初任者研修＋
社会人マナー

実習

12日間

地域研修

2019年度 『福祉即戦力人材養成科』 講師養成

2018年度は41事業所から100名の方に講師として出講いただき、北部地域での介護職員初任者研修や実務者研修に読み替えのできる地域研修の基盤整備の一助を担いました。

今後は、この出講者の経験やスキルを活かし、北部地域での取組につなげます。



【2019年度テーマ】

講師養成研修等により、講師の基本～受講生を惹きつける講義の進め方など、講師の資質向上を目的とした研修の実施

●各研修について（予定）

■講師養成研修 ※出講回数、経験等によるコース別の実施はいたしません。全ての講師の方を対象といたします。

【対象】 福祉即戦力人材養成の講師出講者（丹後会場）

【日時】 6月中旬頃を予定

養成研修会のご案内は5月中旬 講師決定通知と共にご案内します。

■実習指導者向け研修

【対象】 実習受け入れ担当者

【日時】 （丹後会場） 8月16日(金) 14:00～16:00

実習指導者向け研修会のご案内は7月中旬を予定しております。

■講師向け連絡会（初任者研修）（地域研修）

今年度、連絡会の実施はございません。

担当科目に関する質問や講義についての問合せなどは京都保育福祉専門学院あてにお問合せください。個別に対応させていただきます。

※問合せ先等については、講師出講決定後、ご案内いたします。

※希望される方は、京都保育福祉専門学院の担当が行う講義等を見学することも可能です。

2019年度

『福祉即戦力人材養成科』実施詳細

中丹エリア

期 間

- ・2019年10月24日（木）～
2020年3月23日（月）

会 場

- ・京都府立中丹勤労者福祉会館（主な訓練会場）
（福知山市昭和新町105）
- ・市民交流プラザふくちやま
（福知山市駅前町400）

募集人数

- ・25名

対象者

- ・福祉職を希望している離職者

丹後エリア

期 間

- ・2019年8月1日（木）～
12月27日（金）

会 場

- ・京都府立丹後勤労者福祉会館（主な訓練会場）
（京丹後市大宮町河辺3355）
- ・丹後王国（京丹後市弥栄町鳥取123）
- ・宮津総合実習センター（宮津市字波路716番地の3）

募集人数

- ・25名

対象者

- ・福祉職を希望している離職者

地域における講師人材の養成

今後の初任者研修、実務者研修及び地域研修の安定的な実施を目指すために、各科目の単元を担当する講師の推薦を各事業所に依頼いたします

事業所



事業所から講師候補を推薦



各研修講師

講師経験

新しいキャリア

やりがいの発見

地域における講師人材の確保・養成につなげる

講師出講の条件

条件

- 1) 各科目の講師要件に該当する
- 2) 修了時の評価ポイントを踏まえた講義ができる
- 3) 府北部地域の人材確保・育成の視点を持って、講義ができる

講師要件

○保健師・看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士 等
・・・・・・・・ 実務経験5年以上有する者

○介護支援専門員、精神保健福祉士 等 ・・・・・・・・ 実務経験3年以上有する者

○医師・・・・・・・・ 医師としての実務経験を有する者

○学識経験者、教員等・・・・・・・・ 実務経験を1年以上有する者

講師出講のメリットは？

法人・事業所

- 1) 地域研修の 実務者研修への読替
- 2) 法人の魅力発信・人材確保
- 3) 職員間の連携
- 4) 職員のスキルアップ
- 5) 現場の求める人材の養成

講師（職員）

- 1) 伝達能力のスキルアップ
- 2) 職場内の新人育成への活用
- 3) 新たなやりがい発見・ 仕事内容の振り返り

講師出講のFAQ①

Q1 テキスト・レジュメは講師が自分で作るのでしょうか？

A1 受講生が使用するテキストの担当科目箇所のコピーをお渡しします。レジュメは講師で作成ですが、京都保育福祉専門学院がアドバイスします。

Q2 初めてで不安ですが、サポート体制はありますか？

A2 京都保育福祉専門学院が時間配分など講義案等サポートします。

Q3 研修の受講者はどんな方々ですか？

A3 普通離職者訓練の受講者です。年齢層は30代～50代が中心と思われます。福祉職未経験者がほとんどです。

Q4 推薦後、講師が対応できなくなったり、急なお休みの場合はどうしたらいいですか？

A4 分かった時点で事務局に連絡ください。日程調整、変更が可能な場合は後日振替講義にてご担当いただきます。

講師出講のFAQ②

Q5 講義を見学することはできますか？

A5 事前にご連絡頂き、見学可能な講義を調整いたします。

Q7 出講はいつ頃決まりますか？

A7 6月下旬には決定いたします。

Q8 講師出講の交通費はどうなりますか？

A8 交通費は実費お支払いいたします。また、講師謝金をお支払いします。(株)パソナよりお振込いたします。

初任者研修:1時間あたり5,000円
地域研修 :1時間あたり5,500円

Q6 講師経験はどのように活かせるでしょうか？

A6 今後、講師バンクを構築する予定です。地域での研修や各施設内研修の講師活動の幅が広がります。

Q9 推薦にあたって必要な書類はありますか？

A9 推薦の段階では必要書類はありません。決定後すぐにご提出いただく書類は「経歴書」「誓約書」「資格証の写し」です。